

市会議案第13号

香港における人権と民主主義の確保に向けた対応を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和元年12月19日提出

吹田市議会議員 竹村 博之

同 石田 就平

同 藤木 栄亮

同 橋本 潤

同 柿原 真生

香港における人権と民主主義の確保に向けた対応を求める意見書（案）

香港は、我が国にとって緊密な経済的・人的交流を有する極めて重要なパートナーである。中国政府から高度な自治が認められた「一国二制度」の下での自由で開かれた体制の香港は、アジア太平洋地域はもちろん、世界の繁栄と発展に重要な役割を果たしている。

しかし、現状は、香港から中国本土への刑事事件の容疑者引渡しを可能にする「逃亡犯条例」改正案の完全撤回や、警察の暴力行為を調べる独立委員会の設置、普通選挙の導入などの「5大要求」を掲げた市民による反政府抗議活動が今なお続いており、香港特別行政区政府は「逃亡犯条例」改正案の撤回は受け入れたものの、事態収束の気配はいまだ見えない。また、警察による抗議活動への弾圧は継続しており、この非人道的な行為は容認できるものではない。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、関係者の自制と対話による事態の平和的解決、「一国二制度」の下での自由で開かれた体制の維持・発展及び市民の人権尊重などについて、適切な機会を捉え、首脳はもちろん、あらゆるレベルを通じて、中国政府及び香港特別行政区政府に対して働き掛けを行うとともに、在留邦人保護のため、適時、適切な対応や取組を行うよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月 日

吹 田 市 議 会